

I 重点目標

1 かわすあいさつ、わかち合う心〈徳育〉

- 挨拶を交わすなか、人間尊重の精神を培う。
- 諸活動を通し、豊かな情操、奉仕・協働の精神を培う。
- 生徒指導、安全指導の充実と規範意識の醸成に努める。
- いじめ・不登校等への温もりある対応に徹する。

2 かんがえ、表現する力〈知育〉

- バランスのよい習得と活用による授業で確かな学力の定着を図る。
- 基礎的・基本的内容の定着を図る。
- 学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力を養う。
- 学習習慣の確立と家庭学習の充実に努める。

3 みんなで踏ん張る底力〈体力、徳育〉

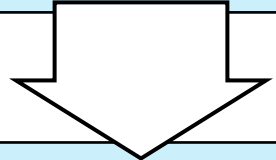
- 家庭や地域社会と連携し、基本的な生活習慣の定着に努める。
- 体験活動を通して継続して取り組む態度を養う。
- 健康の保持と体力・運動能力の向上を図る。
- 進んで健康づくりに取り組む態度を養う。

II 重点目標に対する学校評価（数値は4段階評価の平均値 各評価項目に対する教職員・児童・保護者の評価の順で表記 ◎は学校関係者評価委員の評価 ○は考察及び改善方策）

○挨拶運動	(3.1 3.5 3.1)
仲間・集団づくり	(3.3 3.7 3.5)
○青少年赤十字活動	(3.4 3.3 3.0)
生徒指導体制の整備	(3.6 3.3 3.4)
○登下校の安全確保	(3.5 3.8 3.5)
防災教育の充実	(3.4 3.8 3.5)
施設・設備の安全管理	(3.5 3.7 3.6)
校内環境の整備	(3.4 3.4 3.3)
○いじめ・不登校等への対応	(3.5 3.6 3.2)

○言語活動の充実	(3.1 3.4 —)
特別支援教育の充実	(3.2 3.7 3.0)
情報機器の適切な利用	(3.3 3.5 3.4)
○基礎・基本の定着	(3.3 3.4 3.3)
○思考力の育成	(3.2 3.5 —)
○家庭学習の充実	(3.2 3.3 2.9)

○基本的生活習慣の定着	(3.2 3.4 3.1)
○開かれた学校づくり	(3.2 3.5 3.2)
P T A活動への協力	(3.2 — 3.4)
情報の共有化	(3.4 — 3.5)
道徳教育の充実	(3.2 3.6 3.3)
○体力づくり	(3.2 3.6 3.5)
○健康づくり	(3.2 3.5 3.3)
○食育教育の充実	(3.2 3.4 3.0)



◎いじめ防止基本方針の下、早期発見・早期解決に取り組んでいる様子がよく分かる。

◎教職員による毎日の見守り活動を有り難く思う。児童はとても安心していると思う。

◎子どもたちが、地域で大きな声で挨拶ができています。

○学期に1回「学校生活についての調査」や毎月「学校生活についての月調査」を行い、アンケート調査を基にした教育相談を実施するなどして、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めている。また、管理職の指導の下、事案に応じて家庭訪問や電話連絡等による保護者との連携を図りながら、複数の教職員で組織的に迅速な対応に努めている。

○運営委員会を中心に行っている挨拶運動、環境委員会の朝清掃や落ち葉キャンペーンなどの主体的な活動について、代表委員会等を通じて全校に紹介し、ボランティアの輪を広げていく。

○火災、地震の避難訓練や児童引き渡し訓練、緊急地震速報による仮避難の訓練などを継続して実施し、防災指導の充実に努めた。

◎家庭学習の手引きは、児童、保護者にとっても具体策が書かれていて理解しやすいと思う。

◎児童主体の学習になるように学校が工夫していることが分かる。

◎家庭学習を習慣化させるために、その必要性について学校から啓発するとともに、家庭での協力を得られるよう具体的に提案する。

○基礎的、基本的内容の確実な定着を目指し、朝学習の時間の内容を再検討した。また、応用的な内容を含むプリント教材（東温市から提供していただいている「みんなの学習クラブ」や「愛媛学びの森学習支援サイト」等）を積極的に活用している。

○「家庭学習がんばりカード」を11月と1月に配付し、意欲付けを図った。今後も、学年だよりや校報等で啓発し、保護者の協力を得るようにする。

○「分かる授業」を目指した授業改善、個々の学習状況に合った指導方法の改善に取り組んでいる。今後も、児童の学習習慣の確立や基礎的、基本的内容の定着を図るとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援をしていく。

◎ホームページや学校だよりにより、学校での子どもたちの様子が紹介されており、連携ができています。

◎家庭では体を動かす体験が少なくなっていると思う。学校生活の中で思い切り体を動かすことを大切にしてほしい。

◎道徳科の授業や生活を通して、児童が多くの考える機会をもつことで人権感覚は育まれていくものだと思う。

○人権・同和教育に視点を当てた参観日や性教育に視点を当てた参観日を実施し、心や体、命について考える時間を設定している。今後も、道徳科の学習との関連を図りながら、豊かな心の育成に努める。

○時期によって、水泳、陸上、マラソン、縄跳びといった運動の種類に変化をもたせたり、えひめ子どもスポーツITスタジアム登録によって他校とも競い合ったりしながら、体力や技能の向上と運動の日常化に努めた。

○教育活動に、学校運営協議会委員や地域の方々の協力が得られている。また、「一人一役活動」を中心に、保護者の方がP T A活動に参加することもできている。今後も、周知方法を工夫したり、日程や内容を検討したりしながら、連携強化を図っていきたい。